

《 2月16日～28日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/02/16 (水)	東京は円安ムード。早朝の地震に加え発表されたGDP悪化が海外勢などに嫌気された。欧米でも円は続落。期待されたグ議長証言は新味なかったが、キャリートレード再開思惑などから円安進む。	・早朝に関東で震度5弱の地震 ・第4四半期GDP▲0.1%で3期連続のマイナスに ・1月の米住宅着工件数215.9万戸、同設備稼働率79.0%、同鉱工業生産0.0%	・谷垣財務相「米国流のセッションには当たらない」 ・竹中経財相「景気は回復しているがやや長い踊り場」 ・グ議長「利上げにもかかわらず実質FF金利は極めて低水準」	104.40	135.99	寄付
				104.38	135.92	安値
				105.71	137.40	高値
				105.41	137.36	終値
05/02/17 (木)	東京は揉み合い。円売り意欲強いものの一方で輸出企業などの動きもあり、ドル/円は105円半ばが重い。欧米は米国の雇用改善期待から一時ドル買い先行。しかし中国がドル離れに動くと思惑で行って来い。	・日銀決定会合で当座預金残高目標などの据え置きを発表 ・1月の米景気先行指数▲0.3%、2月のFF連銀製造業景況指数23.9	・福井日銀総裁「為替相場、G7後は落ち着いた動き」 ・中国外為管理局局長「当局はリスクを軽減し外準の利回りを向上させる計画」	105.41	137.36	寄付
				105.16	137.21	安値
				105.78	138.05	高値
				105.53	137.92	終値
05/02/18 (金)	東京はほぼレンジ内での一進一退。ただ大引けに掛けてまとまったドル売りが入り安値引け。欧米は再び円安傾向。米国の来週初にかけ3連休となることで薄らいとなるなか実需をこなし円軟調裡。	・人民元切り上げの噂 ・1月の米PPI0.3%、2月のミシガン大消費者信頼感指数94.2	・MAS高官「人民元切り上げはシンガポールドルに影響しない」 ・福井日銀総裁「日銀は新規発行の国債は引き受けない」	105.53	137.92	寄付
				105.14	137.46	安値
				105.86	138.29	高値
				105.64	138.06	終値
05/02/21 (月)	週初と言うことに加え米国が休場で商いの閑散。東京は値幅僅か20ポイント足らずの膠着相場。欧米も主要通貨は目立った動きうかがえず。ただ発表された経済指標を受けて英ポンドが小じっかり。	・独連銀月報「財政赤字はより一層の削減が必要」 ・米国が休場	・韓国大統領「中国はドルペッグ制の見直しを」 ・ベルギー中銀総裁「まだECBが利上げする時期ではない」	105.64	138.06	寄付
				105.39	137.63	安値
				105.79	138.19	高値
				105.55	137.93	終値
05/02/22 (火)	東京はアジアファクターを受けて右往左往。ただ概ね好感され、とくに引けに掛けては円が一段高。欧米は対ユーロを中心にドル安。東京の流れに加え、原油高などがドルの足枷になっていた。	・「北朝鮮、条件整えば六ヶ国協議復帰へ」との報道あり ・「韓国が外準投資の分散を検討」との報道も ・2月の米消費者信頼感指数104.0 ・原油先物が再び51ドル台の高値へ	・谷垣財務相「日米欧の中では米の経済堅調が続く」 ・SL連銀総裁「米の追加利上げは当然必要」	105.55	137.93	寄付
				103.82	137.09	安値
				105.58	138.11	高値
				104.01	137.92	終値
05/02/23 (水)	東京は発表された経済指標が予想を大きく裏切るもので円安要因。また浅川コメントも予想通りながら失望。欧米は材料豊富だったが、それが逆に決め手を欠き、値動きそのものは限定的。	・1月の貿易黒字2008億円、12月の第三次産業活動指数0.0% ・2月のIFO景況指数95.5 ・1月の米CPI0.1% ・辞任したマシキューCEA委員長の後任としてローゼンCEA委員指名される	・韓国中銀「外準の分散化方針はドルを売ることを意味しない」 ・浅川財務省為替課長「日本は外準の通貨構成変更を考えていない」 ・ECB筋「多くのECB理事は利上げを支持しているが当面実施しない」	104.01	137.92	寄付
				103.90	137.85	安値
				105.10	138.81	高値
				104.80	138.49	終値
05/02/24 (木)	東京はレンジ内で乱高下。値幅はなかったが月末要因などもあり商いのものは結構活発。欧米は再び円安気味。細川発言などが材料視されていた。しかし原油がこの日続伸。ドルも買い難い。	・カナダの退職年金ファンドが海外投資の上限撤廃を発表 ・韓国紙「ASEANと日韓中がドル安対策で秘密会合」 ・1月の米耐久財受注▲0.9%	・韓国中銀「需給要因によるウォン高には介入しない」 ・細川財務次官「ハソク会議、財務官によるとドル安阻止の議論なし」	104.80	138.49	寄付
				104.60	138.43	安値
				105.56	139.31	高値
				105.37	139.06	終値
05/02/25 (金)	東京はコト一日で仲値に掛けて一時上値を試すも不発。その後は積極的な動きに欠けた。欧米はユーロ高。米GDPは好数字ながら予想を下回るもの。結果ユーロが嗜好された。	・第4四半期の米GDP改定値3.8%(速報値3.1%)、1月の中古住宅販売594万戸 ・ゲマール仏経済産業相が辞任	・バーナンキFRB理事「現在の米経常赤字はいつまでも維持出来ず」 ・竹中経財相「緩やかなデフレが続いている」 ・ウェリックECB政策委員「景気は着実に緩やかに加速する見通し」	105.37	139.06	寄付
				105.01	138.51	安値
				105.56	139.36	高値
				105.17	139.27	終値
05/02/28 (月)	東京は円が大幅高。早朝発表された鉱工業生産の好数字が好感された。また人民元高も円高を支援。欧米でも円は一時続伸したが結局行って来い。この日急騰した米長期金利などがドルの下支えとなった。	・1月の鉱工業生産2.1% ・イラクで爆弾テロ、100人以上死亡 ・1月の米個人消費0.0%、同個人所得▲2.3%、同新規住宅販売110.6万戸、2月シカゴ購買部協会指数62.7 ・CRB指数が24年ぶり高値へ	・谷垣財務相「米国には強いドルと弱いドルを支持する二つの面がある」 ・中国国家外為管理局が資本流出入をめぐる規制を緩和する方針へ ・伊藤元副財務官「ハソク会議は具体的政策を決める場ではない」	105.17	139.27	寄付
				104.09	138.00	安値
				105.29	139.42	高値
				104.61	138.36	終値

*製作・著作「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>